

原村子ども子育て支援センター建設基本計画に関する意見募集結果について

原村子ども子育て支援センター建設基本計画に関する意見等の概要と村の考え方がまとまりましたので結果をお知らせします。
 皆様からいただいたご意見は集約し、各担当課で情報を共有し、内容を検討して今後実施可能なものは実施設計に反映していく予定です。
 貴重なご意見やご提言をいただきありがとうございました。

パブリックコメントの実施状況

(1) 意見の募集期間

令和2年1月27日（水）から令和3年2月15日（月）まで

(2) 意見の提出者数と件数

31人（回収箱14人、メール11人、持参6人）

(3) 提出意見及び回答

No.	項目等	意見の概要	意見に対する村の考え方
1	1 子育てサロン	<p>わたしは以前子育てサロンを利用していました。今振り返って思うのは、あの広さ（図書館2階の部屋）ならではのメリットです。保育士の方が毎回2、3名いらして顔を覚えてもらって声をかけてもらえました。部屋が狭いので他の親御さんや保育士さんと話をしている間に子どもが別の遊びを始めても、見守りながら話を続けることができませんでした。子育てについて悩みがあって相談する、というほど大げさなことでもなくても世間話をするだけでとても気が晴れたものでした。茅野市の0123広場も利用したことがあり、あちらはあちらでいいところがあるのですが、広いので子どもから目を離さないように注意しなければならず、他の親御さんとゆっくり話をすることはなかなかできませんでした。また保育士さんと話をする機会はありませんでした。</p> <p>育児に専念している親にとって他の親御さんや保育士さんと話をする機会は貴重です。子どもを広い所で遊ばせたいときは茅野市の施設を利用することもできます。多くの方から「子どもを遊ばせるために広いスペースを」という要望があったことは想像できますが、敢えて面積を抑え親同士、対保育士と話をしやすい環境を作ることも選択肢の一つになりうるのではないのでしょうか。</p>	<p>実際にご利用をいただいていた方のご意見は貴重です。ただ現在ご利用の方や、妊娠中のご夫婦など、これから利用される可能性のある方のご意見とも調整しながら実施設計に活かしていきたいと考えます。</p>

No.	項目等	意見の概要	意見に対する村の考え方
2	中間教室	<p>その代わりというわけではないですが、中間教室のために充てられる面積を広げてほしいです。現在の計画では中学生6名、小学生4名程度という想定で教室の広さが考えられています。しかし、子ども全体の数が減っても学校へ行けない子ども達は今後増加していくことが予想されます。また子どもの学習は座学ではありません。学校では体育館や図書室など教室以外の場所があることを考えると、6名と4名という人数であっても十分でないように思います。計画の図面では、中間教室の玄関を挟んで相談室があり、こちらの部屋が空いていれば中間教室のために使うことも考えられると思いますが、気兼ねなく使えるスペースをもっと用意してほしいです。</p> <p>再度検討をお願いします。</p>	<p>中間教室を利用する児童生徒の個々の特性や事情を配慮すると、十分な広さを想定することが困難な事業です。広いスペースよりも個別対応できる小空間が必要です。それぞれの児童生徒のテストなど、個別の学習で利用する場合に相談室を使用することや空いているスペースを利用することを想定しています。</p> <p>気兼ねなく使えるスペースについて専用のスペースを子育てサロンの次に確保していますが、これ以上確保することは困難です。</p>
2	1 多目的室	<p>① 自主学習スペースを増やしてほしい</p> <p>子供が集中して学習できるスペースをもっと多く（個人仕切り有）図書館にそのようなスペースが無い。友人やまたは一人で学習する事により地域交流および子供学習意欲向上。</p>	<p>図書館2階の小会議室は現在でも学習室として使えるようになっていますが、子育て支援センターが完成して子育てサロンが移った後は、2階の大会議室と小会議室を図書閲覧や自主学習に使える部屋として活用していく予定です。</p> <p>子育て支援センターの多目的室は静の部分と動の部分に分け静の部分では学習スペースとして子供たちが自主学習を行えるように考えています。</p> <p>学習スペースの面積については予算的な制約もありますがどのくらいの規模が必要か再検討していく予定です。</p>
2	全体	<p>② 建物の木造化</p> <p>地域の素材（材木）の木造建物にすべき。無垢の木（木質化）による良い効果を得た公共施設の好例は全国多数。子供達を主役と考え、その成長を願うのであれば必須であり、今の時流に合致する。木造の公共施設は時代の流れであり、都会生活に慣れた人からみると、魅力的に感じる。まさに原村の魅力向上につながり、PR効果も莫大である。CLT材や構造計算の技術進歩により巨大木造建築も容易になってきている。</p>	<p>長野県では県産材利用の意識の醸成と地産地消による森林資源の循環利用を図るため、「長野県森林づくり県民税」を活用し、「子どもの居場所」で県産材を利活用する事業に対し、費用の一部を補助する「子どもの居場所」木質空間整備事業があります。これはより割高となる木質環境整備を支えていくためのものです。ただし300㎡以内の施設にしか適応になりません。</p> <p>子育てサロン・多目的室など大空間（無柱空間）を構成するために、大断面集成材の架構（柱／梁）が必要となります。費用を考慮すると難しいと考えます。</p>

No.	項目等	意見の概要	意見に対する村の考え方
3	1 中間教室	<p>今後、明らかな少子化が進む中で、建築費を含め固定費が発生するプロジェクトにするのであれば、以下のことを十分に考慮したうえで、取り組んでいただきたいと思います。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・子どもたちにとって、従来の教育の枠をこえた取り組みができるような場づくり（中間教室ではなく、フリースクールなど） 	<p>教育委員会の中間教室の狙いとしまして、学校の学習内容・進度に沿って進めることを基本とし、個々の能力や特性に応じて指導内容を精選し、その子に適した指導を行う場としています。</p> <p>学校復帰ができるような力をつけることを支援することも目的のひとつにしていますので、フリースクールとは目的が同じではない点があることをご理解ください。</p>
	2 多目的室	<ul style="list-style-type: none"> ・将来的に、世代を超えた交流ができる場づくり（子育て中の方だけでなく、高齢者が講師を子どもたちにむけてできるような場、もしくはイベントができるような場など） 	<p>高齢者を含めた地元の方々が知識や特技を生かし公民館講座やジュニア教室、原っ子広場などの講師として子供たちと交流しながら生涯学習の推進に当たっていただけるように人材バンクの整備を検討しています。会場については中央公民館のほか子育て支援センターの多目的室も利用して開催していきたいと考えています。</p>
3	全体	<ul style="list-style-type: none"> ・計画に記載された一部はすでに既存の施設で充分賄えるように見受けられます。新規に建物をつくる意味を熟考のうえ取り組んでいただきたいと思います。 <p>以上、よろしく願いいたします。</p>	<p>現存の村内施設の利用については、子ども子育て支援センター検討委員会で村内施設視察を行い、それぞれの施設関係者との意見交換をする中で、原っ子広場以外は既存施設の利用は難しいという結論となっています。</p>

No.	項目等	意見の概要	意見に対する村の考え方
4	1 その他	<p>1. 計画策定業務支援コンサルタントについて</p> <p>原村の業者にしてほしい。昨年6月に発表された「原村における地域経済の分析と循環に向けた施策提案」（原村役場地域経済分析プロジェクト）で示されたように、原村の地域経済循環率は県平均より低く、地域外へ流出している分野として「公務」が多い。それは外部のコンサルタントなどへの費用とのことだったはずだ。村内にも建築・設計業者は多数いて、それぞれがこれから求められる「高断熱・高気密」や床暖房、太陽熱、太陽光発電などに取り組んでいる。そういう地元の業者を選定してほしい。原村への経済貢献につながるはずだ。</p>	<p>予定価格50万円以上の建設工事に係るコンサルタント業務については、公正自由な競争を図る必要性から「原村建設工事入札制度合理化対策要綱」を定め業者の選定を行っています。本要綱においては、選定業者を要綱に定める入札参加資格者名簿から選定することになっています。本名簿登載の村内業者は1者のみです。競争入札に際しては、「原村財務規則」において5者以上を選定することとなっていることから、必ず村内業者へ発注することは叶いません。なお、本入札に当たっては上記名簿への登載かつ「本村にかかわる業務実績がある者または子育て支援施設設計業務実績がある者で、中南信地域に本店が所在する者」の中から決定しています。</p> <p>また、地域経済分析プロジェクトにおいても、地域経済の循環のために村内業者への発注を勧めるものの、入札業務における地域要件の過度の適用は、地域要件外業者の受注の機会均等の原則に反することから避けるべきではないかといった議論がありました（他団体で地域要件の適用の可否による訴訟があり、公共団体に賠償命令が下っている事例があります）。したがって、できうる限り村内業者へ発注したいところではありますが、受注機会の均等の原則に則り入札参加条件を設定せざるをえません。</p>

No.	項目等	意見の概要	意見に対する村の考え方
2	全体	<p>2. 村が新たに建てる公共施設として必要な設備導入をパブコメにかけられた「第5次総合計画後期基本計画」の中で「地球温暖化」の項目があり、具体策として「公共施設等における温室効果ガス削減」がある。</p> <p>この「子ども子育て支援センター」はまさに「公共施設」なので、屋根には太陽光発電や太陽熱温水器を置き、省エネルギーおよび災害時の電源や熱源にできるようにしてほしい。</p> <p>建物全体を、「長野県地球温暖化対策条例」が推奨しているように、ZEB（ネット・ゼロ・エネルギー・ビル）またはZEH（ネット・エネルギー・ゼロ・ハウス）に近いものにしてほしい。それは条例の第21条で「建物を新たに建てる時は、自然エネルギー設備の導入を必ず検討してください」とあるからでもあるが、高断熱・高气密、窓やドアは三重で樹脂の窓枠などにすると、冬の暖房費が節約できる。床暖房も効果があり、館内全体が快適な暖かさになる。</p> <p>エネルギー源は、太陽熱や地中熱、地下水熱など自然エネルギーにすることで、化石燃料（灯油）など、原村から流出する資金を減らすことができ、なおかつ自然エネルギーなら燃料費がタダになる。長期的に見れば、これほどの節約はない。地球温暖化対策にもなる。</p> <p>さらに災害時の停電や暖房に備えることもでき、蓄電池も備えれば、住民の避難所としての役割を果たせる。これからは地球温暖化がどんな想定外の被害をもたらすか予測できない状況であるので、その観点からも、あらゆる場合に備えられる建物にしてほしい。</p> <p>高气密・高断熱は、夏の暑さもしのぐことができる。朝方の涼しい空気を館内にとりこみ、その後は窓やドアを閉じることで、昼間暑くなってもクーラーなしで、涼しさをキープでき、省エネルギーになる。</p> <p>こうした快適な環境でこそ、真の「子ども子育て支援センター」の役割が果たせるのではないかと。このような取り組みには、長野県や国の支援があり、補助金等の対象となる。長野県や国の「2050年ネットカーボンゼロ」目標に沿ったものになるためだ。</p>	<p>○床暖房設備は、子育てサロン・多目的室・ロビー・事務室に設備する計画(270㎡程度)です。</p> <p>○省エネルギーについては「建築物省エネ法(通称)」に適合(適合義務あり)した建物とすることにより「長野県地球温暖化対策条例」をクリアします。</p> <p>○ZEB実現のために断熱・気密性能や高校効率機器採用とあわせて、自然エネルギー利用が必要です。主たる設備は以下の通りです。</p> <p>①地中熱設備 ②太陽光発電 ③太陽熱設備 ④バイオマス設備</p> <p>※③④については給湯負荷の大きな施設について有効です。本施設は厨房(給食)や風呂のような大きな給湯負荷がないため、不向きです。空調にも利用できますが、暖房専用となるため冷房設備を別に設ける必要があります。</p> <p>○災害時対応として主に以下の設備が考えられます。</p> <p>⑤蓄電池設備 ⑥自家発電設備</p> <p>○自然エネルギー利用の手法は、自然採光/通風など建物のデザインの中で取り込むパッシブ(デザイン)と、機械的に自然エネルギーを取り込むアクティブ(デザイン)があります。前述の設備はアクティブで初期費用がかかりますが、光熱費を抑えることができます。計画は主要居室を南面させ、採光と通風を考慮したパッシブデザインを心掛けています。気密・断熱対策に積極的に積極的に取り組み、可能な限り省エネに配慮した建物となるように努めます。</p>
5	1 その他	<p>○計画策定コンサルタントが伊那市の業者ですが、地域経済循環を考える上で、まず地域の業者にやってもらいたい。</p>	<p>4-1を参照してください。</p>

No.	項目等	意見の概要	意見に対する村の考え方
2	全体	○長野県としても建物分野で高断熱高気密でゼロエネルギー化へ向けて助成金も新設され、また地域工務店技術力向上の為の事業者講習会も開催されるようです。その普及が進められているから、今までのような建築仕様ではなく、将来へ向けてエコな建物である必要があると思います。	○気密・断熱・高効率機器の採用など積極的に省エネルギーに取り組み、メンテナンスフリー建材の採用や、パッシブデザインによる熱・光・空気の取り込みに努めます。
3	全体	○危機管理、防災の面からも、新しく新築される公共施設には再生可能エネルギーが使われるべきです。県の取組にもこのエネルギーによる地域内経済循環には多くの予算が取られています。地域の資源を活用。県産材の利用拡大が進められており、内装木質化を考えた建物が望まれます。床を木質材とし、床下には屋根上設置の太陽光から得られる熱利用により、冬場でも暖かな床で、子供達（特に小さな子供は裸足で過ごすことが多い）に快適な環境を提供できるのではと考えます。	○再生可能エネルギー（自然エネルギー）利用設備の概要については、4-2を参照ください。 ○内装木質化は県産木材利用も含め建築基準法上の制限を勘案し、実施（詳細）設計にて検討します。
4	子育てサロン	○子育て中のママの荷物の量は半端なく多いです。収納棚がもっと必要。（諏訪、茅野の子育て施設参考にするとう良いのでは？）	実施設計にて検討します。
5	中間教室	○中間教室の場所設定、広さが十分でしょうか？人数が今後増える事は考えられませんか？実際関わっている方々の意見を取り入れた設計ですか？現在関わっている方々の意見を一番優先的に取り入れて考えるべきだと思います。もし、すでに聞き取りが行われた上での設計案であるならばお聞き流し下さい。	どれだけの広さが十分かという想定は困難です。今後の人数についても想定することが困難です。 現在関わっている方々の意見を一番優先的に取り入れるという考えは理解できますが、この教室を利用する児童生徒の状況は、日ごと変化しますし、それぞれ学校に行きにくさの観点も異なりますので意見の反映は困難です。 現時点で想定されている、利用しやすさの観点では不登校児童生徒の多くにみられる特性や児童生徒の日常の動線などにも配慮をしています。
6	事務室	○事務室は、腰から上はガラス張りとし、周りに目配りができるようにオープンにする必要があると思います。	現状図面は、ガラスパーティション間仕切りを想定しています。具体的には実施設計にて検討します。
7	子育てサロン	○遊具がしまえるくらいの倉庫があると良い。	遊具については親子が常に出し入れし易いよう、見える収納棚の設置を考えています。大型遊具については常時設置予定としています。

No.	項目等	意見の概要	意見に対する村の考え方
8	全体	<p>○全館 Wi-Fi設置は当然。また、中高生の利用を考えるならば、原村の学生が世界へ向けて色々発信していく可能性もあります。この支援センターでの中高校生の過ごし方は？何をしたいか、中高校生達に聞いてみたのでしょうか？以前から原村の役場でのワークショップでも中高生の居場所がない！という意見を聞いたことがあります。この施設が彼らの居場所として適当かどうか？彼らの意見も吸い上げて欲しいです。せつかくの公共施設が使えない箱物になるのはもったいない。</p>	<p>Wi-Fi設備については実施設計にて検討します。 令和元年に原中の2,3年生を対象に行ったアンケートで、原村にあったら良いと思うものを尋ねたところ「集まれる場所」と回答いただいた生徒は149名中6名でした。 実施設計においては学校経由での意見聴取等検討いたします。</p>
9	その他	<p>○これから先、計画案の段階で地域住民との会を開いて欲しいと強く望みます。利用する住民の為の施設であるから、これじゃ使えないという声は聞きたくないですね。是非、住民との会を開いて頂けるようお願いいたします。</p>	<p>子ども・子育て支援センターが期待に応えられる施設となるためには地域の皆様からご意見をいただくことは重要であり、これまでも保護者や小中学生に向けアンケート調査を行ってきました。このパブリックコメントでも同じ項目に対して真逆の意見が寄せられているものもあります。実施計画ではパブリックコメントでいただいた様々な意見をどのように反映するか考えなければなりません。基本計画はあくまでもたたき台としてお示ししたもので、実施設計では意見を取り入れ変更した段階で図面等をお示しし、ご意見等をお聞きする機会を設けて行きたいと考えています。進捗に合わせて住民説明会を開催し、グループワーク等によりそれぞれの意見を尊重できる場を設けたいと考えています。</p>
10	全体	<p>○子育て支援という事が目的とする施設とするならば、私としては、まったく新しいものを提案したいです。ログハウスの遊び場の提供です。『こどもログハウス』です。中は子供が喜ぶ大きな迷路のようなログハウスで、滑り台、地下迷路、トンネル、ネット、ボール、屋根裏部屋、輪投げ、ブロック、バスケットゴールなど、小さな子供から大きな子まで、お父さんなども一緒に遊べる施設で、子供たちが裸足で動き回れる場所です。子供の好奇心が満たされ、運動能力も高められるそんな施設です。実は、以前住んでいたところの公園内に建てられていたログハウスで、ここはいつもたくさんの親子で賑わっていて、親も楽しく一緒に過ごせる場所でした。遊ぶ場所が少ない原村に、雨が降っても遊べるログハウス施設は皆さんに喜ばれる場所になるのではないかと思います。</p>	<p>「雨が降っても遊べる」空間という視点は大切です。ただ、ご提案の施設が現に必要な要素を満たせるか参考にさせていただきます。</p>

No.	項目等	意見の概要	意見に対する村の考え方
6	1 その他	<p>1. 高校生の利用について JR駅からセンターまでの送迎がないと高校生利用者は増えません。帰宅時間のセロリン号運行ルート・時刻をご一考ください。</p>	<p>セロリン号の運行については、現在、検討委員会を立ち上げ、原村にとってどのような公共交通が良いか検討しています。高校生の支援センターの利用時間やニーズ等を基に、要否を含め検討する必要があると考えます。</p>
	2 全体	<p>2. 公共施設のエネルギー施策について 第5次原村総合計画（後期基本計画）案では「第3項 地球温暖化対策」にめざす姿が示され、具体的な施策として「③公共施設等における温室効果ガス削減」が上がっています。 既存の施設にも対策すべきですが、新築時に行えば費用も抑えられ効率的です。 長野県はすでに「地球温暖化対策条例」を改定し、第21条 建築物の新築をしようとする者は、規則で定めるところにより、当該建築物への自然エネルギー設備（自然エネルギー源を利用するための設備をいう。次項及び第5項において同じ。）の導入について検討を行わなければならない。と定めています。</p> <p>一般の住宅ではZEH（ゼロエネルギーハウス）業務用ビルではZEB（ゼロエネルギービル）を提供する業者も増え、国（環境省）の補助金も制度化されています。市町村の施設が受給条件を満たすかは調べきれませんでした。 ZEHに対する各省補助金 具体的には以下の設備を検討ください。</p> <p>①断熱施策（床・壁・窓・屋根）断熱性能を高めることで省エネを実現します。初期投資を行うことで光熱費を下げ、利用者が快適に過ごすことができます。</p> <p>②太陽光発電の導入 屋根上に太陽光パネルを取り付けることで昼間の消費電力は自給可能です。設備費は年々低下しており、後付け工事でも1kW当たり25万円程度が相場です。センターの利用は昼間が中心であるため、自給率の高い運用が期待できます。昼間余った電力は売電し、夜間は自然エネルギー由来の電力会社から購入してください。</p>	<p>○再生可能エネルギー（自然エネルギー）利用設備の概要については、4-2を参照してください。</p> <p>○断熱・気密仕様について積極的に取り組みます。</p> <p>○太陽光発電は費用的に難しいと考えます。</p>

No.	項目等	意見の概要	意見に対する村の考え方
		③蓄熱設備の導入 床暖房が要望されているので、地中熱を用いたヒートポンプによる蓄熱パネルなど、エネルギー効率の良い設備を検討ください。	○暖房は、床暖房、蓄熱式を想定していますが、地中熱利用を含め設置経費・運転経費を比較検討しています。最も経済的で効率の良い方式を採用したいと考えています。
3	全体	3. 防災拠点機能 太陽光発電を設備することで大規模災害時にも電力を自給することができ、防災拠点として住民の避難を受入れることができます。その場合は夜間の電力供給のために蓄電池も導入することが望ましいです。レジリエンス強化に対する国の支援事業も利用できます。	防災拠点に関しましては、太陽光発電だけでなく、曇天や夜間の対応として発電設備についても導入が必要となります。いずれにしても費用的に難しいと考えます。
7	1 子育てサロン	子ども子育て支援センター基本計画を拝見しました。まずは、こちらの図面が決定ではないと思いますが、いくつか意見を書かせていただきます。 ・子育てサロンについて・・・子育てサロンは未満児の親子でのサロンだとは思いますが、こちらはこのセンターではなく「そよかぜ」で行うのはいかがでしょうか？未満児のお子さんをお持ちの親御さんは毎日どこかに行くことはできないと思うので、例えば週3日としたら、「そよかぜ」の空いている時に組み合わせる方が、既存の建物の有効利用ができると思いました。	保健センター「そよかぜ」は総合カレンダーでご確認いただく限り稼働率が低いと思われてしまいます。子ども子育て支援センター検討委員会でも村内施設の視察等行い、間借り的に利用が可能かといった協議も行っています。保健センターでは検診や注射等無い場合でも人員等の都合により午後の検診の準備を前日に済ませたり、総合カレンダーには記載の無い個別の育児相談等を行ったりしています。その辺の融通が可能か判断に困るところです。 現在利用対象の保護者からは「利用できる曜日と時間が限られているために利用できないので、いつでも利用できればありがたい」といったご意見もいただいております。
	2 全体	・「子ども子育て支援」という名前にあるように、子どもの支援だとすると、子どもが本当に望んでいることは何か、子ども自身や専門家の意見を入れることが大切ではないかと思えます。単なる箱物であれば、図書館の2階や中央公民館、あるいは小学校や中学校の放課後の教室を使用したりもできるので、箱に終わらない工夫が必要かと思えました。	子ども子育て支援センター検討委員会と村で平成30年に小学校4年生以上と全中学生に向けアンケート調査を行っています。以下でご確認いただけます。(60-66ページ) https://www.vill.hara.lg.jp/docs/3753.html 村内公共施設については3-3を参照してください。
	3 その他	・これからの時代は想像できないスピードで社会が進んでいくと思われれます。行政だけの対応ではなく、民間、住民との連携が必須ですので、そのような組織を編成し、いいアイデアを出し合って進めていただきたいです。	実施設計では意見を取り入れ変更した段階で図面等を示して、ご意見等をお聞きする機会を設けて行きたいと考えています。従って、建設委員会等の組織は設置せず進捗に合わせて住民説明会を開催し、グループワーク等によりそれぞれの意見を尊重できる場を設けたいと考えています。

No.	項目等	意見の概要	意見に対する村の考え方
4	多目的室	<p>・「はらっこ」がこの施設に入っていないのが気がかりでした。手狭であり、利用者も多いので、はらっこ利用も考慮していただきたいです。</p>	<p>原っ子広場については現在、利用者の大幅な増加により居場所が不足し、開設時間には中央公民館の多くの部屋を使用していることから公民館登録団体や一般の利用者の皆さんに大変ご不便をおかけしています。</p> <p>子育て支援センター開館後は子育て支援センターの多目的室や小学校の空き教室も利用して原っ子広場の子どもの居場所の不足を解消していく予定です。</p>
5	その他	<p>・少子化が進む中、既存の建物をいかに利用していくかが課題になると思いますが、その中で、このセンターを建てる場合、「チノチノ」のように、子どもたちと一緒に作っていくのも地域社会での取り組みとして魅力的だと思います。</p>	7-2を参照してください。
6	全体	<p>・施設本体に望むことは、持続可能な再生可能な建物であることです。これからの時代においてサステイナブルであることは非常に重要だと思います。</p> <p>未来の原村をつくる子どもたちが、いきいきと元気にかつ安心できる場所となりますように。</p> <p>以上です。</p>	5-2を参照してください。
8	1 子育てサロン	<p>「子育てサロン 親子で一緒に遊べる場」の室内環境について提案させていただきます。長年乳児保育に携わってまいりましたので、乳児期（0歳～2歳）の育ちの大切さを痛感しています。子育てサロンの利用は乳児期のお子さんが多いと思います。この時期の子どもにとって、自発的な興味、関心を誘う遊具が身の周りにあり、自由に遊べる空間と時間があることは、発達、成長に欠かせません。子育てサロンではそのことを大事に考えていただきたく、下記のことを要望いたします。おもちゃは質感、触感、安全性等を考慮して木製のものを備え、また、室内の大型遊具も木製のしっかりしたものを選んでいただきたいと願っています。</p> <p>また、おもちゃ棚から子どもが自らおもちゃを選べるように、低いおもちゃ棚や絵本棚、ままごと用キッチンなども低年齢児用のものを用意していただけないでしょうか。</p> <p>自ら集中して遊ぶお子さんの姿はお母さんを幸せにしてくれます。木製遊具は購入時には少し高価ですが、長年使えますのでお得です。ぜひご検討ください。</p>	<p>木に親しみ、木を生かし、木とともに生きていく「木育」という活動があります。この考えに賛同して活動されている方からも具体的なご提案をいただいております。費用等精査しながら実施設計で検討していきます。</p>

No.	項目等	意見の概要	意見に対する村の考え方
9	1 子育てサロン	計画等読ませていただきました。 以前京都に住んでいました。長野は、公園が広く嬉しいなど感じています。が、外遊びメインで、雨の日の居場所や乳児を連れていける場所がありません。 室内で思い切り体を動かせるような施設があると嬉しいです。 0～3歳まではサロンで使われているものでもよいと思います。	5-10を参照してください。
	2 多目的室	3～5歳はサロンで使われているものでは物足りません。 休日運営も視野にいれておられるなら、もう少し上の年齢層も考えてもらえると、兄弟で連れて行きやすい環境になるかと思われます。 参考:こどもみらい館 https://www.kodomomirai.city.kyoto.lg.jp/	子育てサロンは児童福祉法に基づいた概ね3歳未満の児童及び保護者のための施設となりますので、それ以上の年齢のお子さんの利用は想定していません。幼稚園保育園入園年齢のお子さんの利用が想定される休日運営については、建物の管理とスタッフ確保の問題がありますので検討していきたいと思えます。
10	1 駐車場	長時間滞在の利用者が多く見こまれ、駐車場の量不足が確実です。シルバー人材センターとの境を無くし、駐車場内の一方通行化、駐車場の共有化を図って効率向上させると共に、建物自体を高層化するなどして、面積の拡大も考慮していただきたいです。また、雨天や積雪時に安全に乗降できるよう、屋根付きの一次乗降場の設置も希望いたします。	23-7で「駐車場を最小限に」とのご意見もいただいております。調整しながら実施設計に活かしていきたいと考えます。
	2 全体	長い目で見ると建設費より維持費の占める割合が高いので、特に光熱費が抑えられて快適性に繋がる高断熱の設計が望ましい。見落としがちな点として清掃やメンテナンスのし易さ、今回露呈した解体までのコストも含め、想定試用期間（30～40年？）トータルでのコストを試算の上、最善と思われる設計をお願いいたします。	5-2を参照してください。
	3 多目的室	多目的ということで、将来的には用途の多様化や細分化も予想されます。可動間仕切りや使い易い収納など、汎用性のある設計が望ましいです。	将来的な間仕切り変更等に対応するため、柱と梁で構成する鉄骨造を採用しています。木造は“壁”が耐力を負担するため、後の壁変更(移動)が難しい場合があります。2-2にも関連する内容です。
	4 全体	静かさが求められるエリアと、気兼ねなく騒げるエリアを上手く分けられるようにしていただくと、双方の満足度が高まります。(現図面でも、ある程度出来ていると思います)	壁(固定物)で仕切るのではなく、家具やロールブラインド等(可動物)で仕切る方が、利用形態の自由度が増すと考えます。

No.	項目等	意見の概要	意見に対する村の考え方
5	事務室	事務スペースが無駄に広く、更衣室も不要です。限られたスペースを本来の目的に有効活用するため、受付や事務機能の本体は公民館や役場に置き、リモートで管理出来るよう、工夫してください。受付には一坪程度のスペースとノート PCとプリンター、そして電話と机があれば充分なはずですが、更衣室は自宅や公民館で着替えを済ませるのが基本ですが、どうしても設置するなら半畳ほどのスペース一つと、ロッカーを設置しておけば良いでしょう。一般に公共施設は玄関と事務室等が立派過ぎます。民間企業は、従業員よりも顧客の為にコストをかけますし、そうあるべきです。限られた予算は利用者に振り向けていただくよう、お願いいたします。	職員数について、行政の子育て支援事務業務をどの範囲までこの施設で行うかによって不確定となります。人員配置の検討も行いながら、実施設計で検討します。
11	全体	コロナウイルスで人件費削減、経費削減と言われていますが、これから先何を優先とするのか、まだ、コロナもおさまっていない状態ですが、大丈夫でしょうか。 子供たちがほっとした気持ちで過ごせるようなあたたかい雰囲気建物や内装にしてほしいと思います。	換気機能を備えた空調設備を計画しています。 あたたかな雰囲気の建物や内装のいずれも実施設計で検討していきます。
12	子育てサロン	子育てサロン内にトイレがあるのが良いと思いました。 大人用のトイレと幼児用の便器をいっしょにしていればと思います。（同じ部屋にとなりどうし）	実施設計で検討していきます。
13	中間教室	「中間教室」とは聞き慣れないのですが、どのような教室なのでしょう。	不登校傾向の児童生徒の昼間の居場所確保と学習保障、学校復帰等を目的とした指導と支援に取組む施設で、一般的には教育支援センター呼ばれているものです。
14	その他	おいしいコーヒーがのめるといいです。	運用の中で検討できればと思います。
15	1 その他	飲食はOKにしてください。	多目的室では飲食の制限は行わない予定です。
	2 駐車場	駐輪場とベビーカー置き場がほしいです。	実施設計で検討していきます。
	3 多目的室	カラオケボックスとダンスができる大きな鏡があるとマタニティヨガができる。 ボルダリングがあったら楽しそう。	カラオケについては公共スペースでは難しいと考えます。ダンスについては現在も社会体育館がご利用いただけます。

No.	項目等	意見の概要	意見に対する村の考え方
16	1 中間教室	中間教室として区切る方がよいのか？ ・利用時間以外は他の活動にも使えるよう、学習室の充実にあてた方がよいのでは？ ・代わりに私物などを管理できるロッカールームがあるとよいのでは。 ・区切るのならばもう少し個を確保できる小さいスペースがよいのでは。	中間教室を利用する児童生徒の特性に配慮したため、専用に利用できるスペースとして区切っています。
	2 その他	利用者が使えるミニキッチンがあった方がよい。授乳室のキッチンは、他の人は使いにくいのでは。	実施設計で検討していきます。
	3 相談室	会議室（相談室）が多いきがする。	会議室及び相談室1室については予約がない限り開放する予定です。
	4 その他	障害者の働ける施設があるとよい。	隣接するシルバー人材センターの1階にある、地域活動支援センターが障がいのある方の余暇や就労の場として利用できます。
	5 子育てサロン	遊具は部屋のすみでもいいので片付いた方がいい。	5-7を参照してください。
17	1 その他	・玄関に手洗い用の水道	実施設計で検討していきます。
	2 庭	・庭には、しっかりとフェンス、安全確保 ・3才児くらいまでの子供が遊べる遊具を庭へ。	実施設計で検討していきます。
	3 その他	住民との意見交換会を色々が決まる前に適宜行ってほしい。	7-3を参照してください。
	4 子育てサロン	・調乳室と授乳室は別がいい。	授乳、調乳スペースは男性、女性がそれぞれ利用できるよう検討します。


No.	項目等	意見の概要	意見に対する村の考え方
18	1 その他	<p>多額の費用を費やすこの事業。後に建てて良かったと思える子ども・子育て支援センターとしたい為に、ぜひ意見書で求めるパブリックコメントとは別に、今一度、職員を含めた、サロン、支援員の先生、はらっ子広場、臨床心理士等専門の方々の意見をまとめて話し合って進めて欲しいと願います。</p> <p>例えば中間教室は安心できる場であることはもちろんですが今後社会へ繋がってゆくことを踏まえるとテラスへの道（ドア）があってもいいのか？関わっている人だから見えるものもあるかと思えます。又今回のコンサルタントがこのような事例で具体的な設計があるならそれを参考に話し合うのも良いのかもとも思います。</p>	<p>部署ごと、お子さんや子育て世帯を支援しており、会計年度任用職員からは都度、意見を聞いております。</p> <p>今回お示ししている図面については、敷地に対する建物の配置と各部屋の配置及び面積を示したもので、皆様にご意見をいただくたたき台になるものです。ドアの設置や位置については実施設計で検討していきます。</p>
	2 多目的室	<p>子育てサロンスペースはもちろんですが多目的ホールは開放度からすると床暖房が望ましいかと！</p>	<p>現計画で設置予定です。4-2を参照してください。</p>

No.	項目等	意見の概要	意見に対する村の考え方
3	全体	<p>原村子ども・子育て支援事業計画における本支援センター建設計画。改めて私達は0才から18才までの原村の子供達とどう関わっていくかを考えた時、この計画図面には入りきれない、又、未来を育てきれない子供達がでてくる（中・高生）※</p> <p>※ハラカツの中から原村学校応援団の第1号者が原中に戻って活動しました。居場所作りをすることによってもしかしたら将来、世界に羽ばたく子供達が生まれるかも知れない。</p> <p>この支援センター建設と同時に村内の関連既存施設、中央公民館は元よりそよかせ等のあり方、利用の仕方等の見直し機会とぜひしていただきたいと思えます。</p> <p>今ある利用目的・時間、又施設の不具合等いろいろあるとは思いますが少し手を加えること、あるいは根本的な意識・発想の転換で利用可もあるのではないのでしょうか？</p> <p>又その様にして行かないと今後問題の解決も難しいかと思えます。（はらっ子広場）</p> <p>それには各課、職員の連携の中に、原村の子ども・子育てと言う事業の共有、共通認識を持つことが大事かと思えます。最終的には建物の中にどんな機能を持ち生かすのかだと思えます。これからも住民の声、専門知識を持つ方々等の意見を聞きつつ、進めて行っていただきたいと思えます。ありがとうございます。</p>	<p>原村子ども・子育て支援事業計画は子どもにかかる住民の代表と関係職員が連携の下、保護者や子どもたちへのアンケートを基に策定しています。第2期原村子ども・子育て支援事業計画については以下を参照してください。 https://www.vill.hara.lg.jp/docs/4419.html</p> <p>アンケート結果については7-2を参照してください。</p> <p>子ども・子育て支援法で定義している子ども（18歳に達する日以後の最初の3月31日までの間にある者）とその保護者について、支援の必要な方々を取りこぼすことなく支援したいと考えています。障がい等お持ちでない13歳以上のお子さんは自ら主体的に活動できる年齢です。ただ、困った時に助けを求めることのできる様、常に受け止められる支援体制を整えてまいります。</p> <p>中高生専用の居場所については考えておりませんが、中高生も利用できます。また、中央公民館や社会体育館、各地区の公民館等を一般の方と同じようにご利用いただければと考えます。</p> <p>村内施設については3-3を参照してください。</p>
19	1 事務室	<p>「建物について」</p> <p>事務室とロビーの間はガラスで事務室から見通す事が出来る構造で、カウンターでなくて良い。暖房費等の節約になる。（子どもがいない時の有効使用。）</p>	<p>現状図面は、ガラスパーティション間仕切りを想定しています。</p>
	2 全体	<p>寒さ対策等 網戸、ペアサッシ、FFストーブ、子育てサロン、多目的室には床暖（ジュールタン）加湿器が必要では。</p> <p>出来れば、床、壁に木材使用（壁は1.2m位いまで）</p>	<p>原村の地勢を勘案した気密・断熱には省エネ法適合を念頭に計画します。床暖房範囲については4-2の通りで計画しています。FFストーブは暖房専用機器であり冷房設備が別に必要となること、灯油価格が不安定ですので設置は考えておりません。</p> <p>木材利用については、5-3を参照してください。</p>

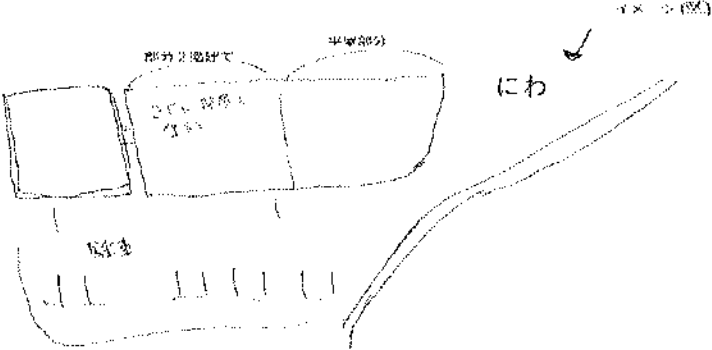
No.	項目等	意見の概要	意見に対する村の考え方
3	その他	水飲み場、手洗い場とシャワー室は必要。 入口が北西側であるので、北風が吹きこむので対策が必要と思う。 ゲタ箱の位置 入口側も必要。一般の人（親）も靴はゲタ箱の中に入れるのでは？（土足厳禁なら）	実施設計で検討していきます。
20	1 子育てサロン	子育てサロン室のとなりの会議室のところに1日サロンを開くようでしたら、保育士の居場所とサロン室内を見られるようにした方が良い。	実施設計で検討していきます。
	2 子育てサロン	サロン来た親子の荷物収納棚が必要。	実施設計で検討していきます。
	3 その他	手洗いは自動水洗がよい。	実施設計で検討していきます。
	4 全体	幼児トイレはもう一つあってもよい。	実施設計で検討していきます。
	5 子育てサロン	ミニ絵本棚	実施設計で検討していきます。
21	1 全体	長野県は気候危機突破方針を策定していて、原村も気候非常事態宣言に賛同しています。 新たに建設する建物においては、脱炭素まちづくりに資する入念な計画が望まれるのではないのでしょうか。 原村は公共施設が中心に集まっているので、地域内のエネルギーの自立化などにも取り組みやすいように思います。 長期的な視点のエネルギー自立化の計画作り、またそのはじめの一步となる、建物にして下さい。 とりわけ子ども達が利用する場です。未来の原村に期待を持てる、より先進的な取り組みを期待しています。	CO2排出量削減や省エネルギーについては、建築物省エネ法適合により現時点での基準をクリアします。
	2 その他	住民説明会の案内は役場HPおしらせできちんと告知して欲しかったです。	住民説明会についての告知記事は、1月20日に公開しておりましたが、「子育て・教育」バナーより閲覧できる設定になっており、役場HPトップページ右脇「お知らせ」欄に表示されていない状態でした。 今後は、大勢の方に情報をお届けできるように努めます。

No.	項目等	意見の概要	意見に対する村の考え方
3	全体	<p>開館時間について要望が多い、とありましたが平日・休日ともに利用できるようお願いします。</p> <p>中高生の居場所として、また相談しづらい事を相談できる大人がいる、と安心してもらえる場所になって欲しいです。</p>	<p>子育てサロンについては、現在利用対象の保護者からは「利用できる曜日と時間が限られているため利用できないのでいつでも利用できればありがたい」といったご意見をいただいております。休日運営については、建物の管理とスタッフ確保の問題がありますので検討していきたいと思っております。</p> <p>中高生の居場所については18-3を参照してください。</p>
4	中間教室	<p>図面計画案について</p> <p>中間教室の外で幼児が遊ぶレイアウトですが、利用時間が重なるため、教室の子の気が散らないか心配。</p> <p>また、子育て支援センター利用の親が教室の様子を見れてしまうのではないのでしょうか。南面に教室はよいと思いますが、高低差で視線は切る等の配慮が欲しいです。</p>	<p>利用する児童生徒の特性に配慮して、必要に応じた対処を行うなどの工夫を検討します。</p>
22	1 全体	<p>検討委員会のメンバーとして1年間、様々な視察や討論を重ねて答申書を提出しました。今回の計画はそれを少しでも参考にしていただけたのでしょうか？</p> <p>0-18才の子どもたちに向けた機能がもりこまれてはいますが、スペースや立地が少しずつ中途半端である気がします。住民説明会では細かな点への要望も多く出ましたが、全体的に「誰のための施設なのか」の焦点が定まっていないう気もします。</p>	<p>答申を参考に庁内検討を行いました。答申と大きく変わっている点は建設用地となります。建設場所選定にあたっては、利用者や利便性を考えた時に学校や保育園、図書館等の近くであることを考慮する必要がありました。その要件と土地形状を鑑みて、民地、村有地をあげて選定を進めた結果教員住宅敷地が適地として決定しました。</p> <p>庁内的には当時から建築費等にかかる経費を考慮して延べ床面積を500㎡としていました。答申を受けた後の庁内検討ではこの制約の中で必要度及び重要度の高い機能を優先し、他の公共施設で賄える機能については取り入れていません。</p> <p>誰のための施設なのかについては、18-3を参照してください。</p>
	2 その他	<p>原っこ広場の機能が入らなかったため、学童、原っこ広場、その他の子どもたちが更に分断してしまうのではないか</p>	<p>原っこ広場については現在大幅な利用者の増加により子どもたちの居場所が不足し中央公民館の利用団体にも大変不便をおかけしていることから、子育て支援センターの多目的室や小学校の空き教室なども利用して開設していく予定です。</p>

No.	項目等	意見の概要	意見に対する村の考え方
3	その他	中高生の居場所を本気で考えるなら、ダンスや楽器の使える空間を確保すべきではないか。	ダンスについては現在も社会体育館をご利用いただけます。 楽器を使える空間については小中学生アンケートで複数回答でしたが26.5%の要望がありました。平日昼間の稼働を考慮し検討します。
4	子育てサロン	幼児の空間を充実させるのなら、土足でそのまま庭へ行ける通路をつくるべきではないか。走り回る子どもと乳児のすみわけを考えるべきではないか。	実施計画で検討いたします。
5	会議室	会議室を母親サークルの活動場所にするなら、子どもたちの様子を見ながらミーティングのできるオープンなスペースを用意する方がいいのではないか。	運用の中で対応していきます。
6	事務室	事務室をもっとオープンな場にして（極端な話、建物の中心にカウンターとして設置するなど）、来訪者とのキョリを近づける工夫が必要なのではないか。	5-6及び10-5を参照してください。配置場所については実施設計で検討いたします。
7	中間教室	中間教室へのとりくみや配慮にはとても手厚いものを感じましたが、今後、どのように人数が推移していくのか誰も分かりません。もう少しフレキシブルな間取りを考えてもいいのではないか。又、この事業は今後も行政が担っていくものなのか。いつかは民間にゆだねていくものなのか。村の方針を知りたいと思いました。	ご意見のとおり、人数の推移については予測困難であります。しかし、不登校傾向の児童生徒の支援については、教育委員会として担っていくものだと考えております。
8	多目的室	親のお迎えをまつ子どもたちの居場所という機能もあるようですが、今後図書館で過ごすことが許されなくなる一面も出てくるのではと感じました。子どもたちが図書館で本にふれる機会が減ってしまうのはもったいないと思います。	原村図書館では第3次原村子ども読書活動推進計画を策定し幼少期から本に親しむことを推進しています。子育て支援センター開館後も図書館は子どもたちが絵本を見たり、読書をしたり、学習をしながら過ごすことには従来どおり利用できます。
9	全体	子育てサロンの機能がこのセンターに入るなら、いっそのこと図書館2Fを改装して小中高生の居場所（勉強室、親との待ち合わせ、音楽室、ダンス室）にすれば、それぞれのスペースをもう少し確保できるのではないのでしょうか。	図書館については図書の見学場所が不足しているとの要望が以前から多くあり、子育てサロンが子育て支援センターに移動後は2階の大会議室と小会議室は図書の閲覧場所とWi-Fiの環境を備えパソコンの持込使用もできる自主学习コーナーを設ける予定ですが、静かに読書をする環境が必要であり音楽室やダンス室としての使用は困難と思われます。

No.	項目等	意見の概要	意見に対する村の考え方
10	その他	<p>以上をふまえて、今回村から出てきたような計画案は全体的に機能、スペース等に中途半端なところも多く、このまま建物が建設されてしまうことには不安を隠しきれません。今1度再考を重ねていただければと思います。</p> <p>又、今後の進捗について第2回、第3回とその都度住民との意見交換会を希望します。合わせてご検討下さる様をお願いします。</p>	<p>今回お示ししている図面については、敷地に対する建物の配置と各部屋の配置及び面積を示したもので、皆様にご意見をいただくたたき台になるものです。皆様からのご意見は来年度の実設計の参考としていきます。</p> <p>今後の意見聴取については5-9を参照してください。</p>
23	1 子育てサロン	<p>子育てサロン用のへやとかじゃなくて分けないほうが良い 遊具も収納式にすれば窓際に (絵) 荷物も置けるしチビ達も さわる事が出来ない。</p> 	実施設計で検討します。
23	2 子育てサロン	<p>トイレも必要ですが少し減らしてスペースが広がってもいいのでは？1度にそんなに行きますか？じゅんばん待つ教育も大事？</p>	実施設計で検討します。
23	3 中間教室	<p>中間教室の入口、もう少ししぜんな所はどうです？ 中間教室では、仕切りも必要かもしれませんが、中間教室でのこりゅうも出来るように、行きたくなる場所だと良い。友達を作るのがにがてな子も多いでしょうが、友達が欲しくないわけじゃない事！！</p>	<p>様々な特性を抱えた児童生徒の配慮としての優先順位として一定の仕切りを検討しています。</p> <p>交流については、それぞれの特性と本人の気持ちを配慮したうえで進めて行ければと考えております。</p>
23	4 子育てサロン	<p>ごはんのためにテーブルとイスは必要？？常に置いておくんじゃなくて、長テーブルとかにすれば広く子供達が使えると思います。</p>	<p>子育てサロンでの食事は想定しておりません。食事は多目的室やテラスを利用いただきます。</p>
23	5 子育てサロン	<p>子供用のトイレも助かりますが、どこにでもあるわけでないので大人用のトイレに子供用ベンギなどのじゅんぴとかのほうが実用的では？家でもその方が多い？</p>	<p>子育てサロンを利用される方の中には保育園や幼稚園入園を前に、お子さんの準備として利用される方もおられるため子ども用のトイレを設置します。</p>
23	6 全体	<p>妊婦さんも利用できれば良い。かきねなく、ママせんばいに聞きたい事たくさん！ スタッフの方が干渉しすぎずに、親どうしがもっと話せるようになると良い。</p> <p>小さい子供連れのママ、パパは友達を作る場所が無い為、そういう場所になるようには、スタッフが関わる時間とそうでない自由な時間があるってはどう？</p>	<p>子ども・子育て支援法では妊婦も支援対象となっておりますのでご利用いただけます。そのほか子育て支援のボランティアや団体、関係の皆様にも利用していただきたいと考えています。</p> <p>イベント以外は現在の子育てサロン同様、スタッフは全体の安全管理以外は原則求めに応じて対応することになります。</p>

No.	項目等	意見の概要	意見に対する村の考え方
7	駐車場	<p>駐車場を最小限にしてみても？車イス用は必要ですが、あとは公民館などは利用。 そもそも建てる場所を変えた方がよい。消防署の上とか行きやすい。車でも！</p>	<p>10-1を参照してください。 車いす用駐車場でなく障害をお持ちの方に加え、妊婦さん、ケガや病気の方を対象とした信州パーキングパーミット対応としていきたいと考えます。 建築場所に関しては22-1を参照してください。</p>
24	1 全体	<p>シルバー人材センターと全く別になっているのは何故でしょうか？子供、シルバーが同じ空間でゆるく関われるほうが良いのでは。シルバーの建物を壊すことなく、渡りろうかでもつなげて良いと思います。</p>	<p>シルバー人材センター原事務所には常時高齢者が滞在していません。高齢者等との交流については運用の中で対応できればと考えます。詳細については3-4を参照してください。</p>
	2 全体	<p>全体の考え方として、今から部屋の用途を厳密に決めすぎると、数年後にニーズが変わってきた時に対応できなくなると思います。「会議室・相談室・中間教室を兼ねた数部屋」と「パーティションでゆるく区切れるようにした広い空間」の2つの大きな機能区分で良いのでは？</p>	<p>10-3、10-4を参照してください。</p>
	3 子育てサロン	<p>子育てサロンの大型遊具の「常時設置」は疑問です。「他の用途に空間を使えない」「小学生が遊んで壊す」といった観点で、せめて脇に寄せて空間を空けるべきだと思います。 調乳・授乳室は分けてほしい。 母親が授乳中に他の男性がミルクを作れないです。</p>	<p>子育てサロンは安全面を考慮し他の空間とは別にします。コロナ禍以前から遊具の消毒を毎回行っています。現在は午前だけの開設ですが、完成後は午後もご利用いただけます。 調乳場所と授乳室は分離するよう検討いたします。</p>
	4 中間教室	<p>中間教室を専用の部屋として設けるより、ロッカーを個人荷物置き場として用意して、部屋自体は相談室や学習室と兼用できるようにしては？</p>	<p>中間教室を利用する児童生徒の特性に配慮したため、専用に利用できるスペースとして区切っています。</p>
	5 その他	<p>皆が共通利用できる給湯室・ミニキッチンが必要だと思います。事務員や子供連れの親子が昼をまたいで利用するには、ランチが作れる必要があります。</p>	<p>給湯室は設置を検討しますが、ミニキッチンについては設置を考えておりません。</p>
	6 その他	<p>下駄箱スペースがせますぎると思います。冬の原っ子広場の靴は、廊下に新聞紙を置いて、何とか収めている状況です。それに加えて大人も利用するなら、もっと広くすべきでは。また、冬季の原村の住民は、長ぐつやブーツがほとんどです。最初からそれを想定した下駄箱にして欲しいです。</p>	<p>時間帯最大数を、放課後児童60名に加えて職員10名程度として計画しています。防寒靴等詳細については、実施設計にて検討します。</p>

No.	項目等	意見の概要	意見に対する村の考え方
7	全体	2階建てにして、もっと駐車場を広くして欲しいです。11台分では心許ないです。2階を学習室、相談室、会議室、中間教室として。1階を多目的・子育てサロンスペースに。	建築案を作成するにあたり、教員住宅の改築による2階建ても検討しましたが、避難用も考慮した複数の階段設置に加え、バリアフリー化を考えた時にエレベーターの設置も必要となります。面積が余分に必要になることに加え、エレベーターの定期点検等のランニングコストも大きくなるため、平屋建てを採用しました。
8	庭	<p>小さい子供用の外の庭はありがたいですが、デッキまで靴を持って建物内を通るのでしょうか？建物の外を通して庭に行けるようにして欲しいです。</p> 	スムーズな利用ができるよう実施設計で検討いたします。
25	1 子育て サロン	<p>原村に越してきた時に利用しましたが、時間が短く、場所も狭かったので、専ら富士見町のアイアイを利用させてもらっていました。(他茅野の0123)</p> <p>アイアイはとても充実していて、遊び場の他、お昼を食べる場所がしっかりあり、利用しやすかったので、支援センターでも親子がゆっくり昼食をとれる場所や空間があると良いと思いました。</p> <p>また、河原や自然の中での活動もできると原村ならではの自然に触れることができるかと思います。(場所が限られると思いますが)アイアイでも月に何回か外に出て親子で活動する日があり、楽しみに参加していました。</p>	<p>食事の場所としては、多目的室やテラスになります。現在の原村図書館2階の子育てサロンの規模が丁度良く、気に入っているという意見もありました。</p> <p>いただいた意見については、実施設計の参考にさせていただきます。</p>

No.	項目等	意見の概要	意見に対する村の考え方
2	多目的室	<p>娘が小学校で学童に大変お世話になりました。</p> <p>中学校に上がってからの放課後の居場所を心配していましたので、支援センターがあれば安心とうれしく思っています。</p> <p>まだ時間は決まっていないかと思いますが、学童と同じように6時半または保育園の延長保育と同様に7時頃まで利用できると、働いていて原村ならではの遠い場所に住むご家庭は安心、またありがたいかと思えます。</p> <p>以上2点です。</p> <p>素敵な場所ができることを楽しみにしています。</p> <p>よろしくお願いします。</p>	<p>子育て支援センターの多目的室は小中高校生が放課後を過ごすことのできる放課後の居場所として考えています。</p> <p>開館時間については建物の管理とスタッフ確保の問題がありますので検討していきたいと思えます。</p>
26	1 子育てサロン	<p>子供用のトイレの洋式が1つなのが少ないと思う。トイレトレーニング期は一瞬も待てない時が多くまたお友達と一緒にいこう!で行くことも多いので増やすべきだと思う。</p>	<p>実施設計で検討いたします。</p>
	2 その他	<p>図書館と少し距離があるのがとても残念。サロンの帰りに図書館へ行くのがとても良く子供が本を好きになるきっかけにもなったので、できたら図書館へ続く道? (車移動しなくても歩いていけるように)があるといいと思った。</p>	<p>図書館と子育て支援センターを結ぶ新たな小道のようなものを作るのは困難なため、図書館北側の道路に付属する歩道か南のアカデミーパーク側の道を利用させていただきたいと思えます。</p>
27	1 子育てサロン	<p>駐車場やにわの複合遊具はとても良いと思えますが、子育て支援センター内の子育てサロンをするスペースが少しせまいと思えます。午睡スペースも保護者の意見を聞いてとのことだが、今も3才のわんぱくな時期の子供が楽しくなると親としてはふんでしまわないか、おこしてしまわないか、心配になるので茅野市の0123の様に親が見守れはするが他の子ども走りこまないようなくふうは必要ではないかと思えます。それと、子供用トイレが1部屋しかないのは少し不便だと思う。授乳と調乳スペースが一緒だと母親としては便利だが父親などがつれてきた場合困ったりしないか?</p>	<p>午睡スペースの間仕切りについてはクッション制のもので検討いたします。</p> <p>子ども用トイレについては実施設計で検討いたします。</p> <p>授乳、調乳スペースは男性、女性がそれぞれ利用できるようにいたします。</p>
	2 庭	<p>子育て支援センターの使い方とは少しはずれるかもしれないが保育園では帰りに園で遊べないので、センターのにおだけでも園児が遊べればうれしいです。</p>	<p>検討いたします。</p> <p>現保育園の利用についても園に確認し、保護者にお知らせいたします。</p>
28	1 全体	<p>・いろいろな目的が詰まりすぎていて、狭く中途半端にならないでしょうか。</p>	<p>おおよその全体面積と、優先順位の高い機能の現状の利用状況から広さを検討しています。</p>

No.	項目等	意見の概要	意見に対する村の考え方
2	相談室	・相談室が多すぎるのではないのでしょうか。 予約で使用するなど、空室になる時間を減らすことができるのではないのでしょうか。	運用の中で工夫を考えます。
3	多目的室	・多目的広場やカウンターでワーキングとの話がありましたが、子どもが走り回れるスペースとして設けているならそこでの仕事は無理ではないのでしょうか。	保育園での一時保育、またはファミリーサポート事業によりお子さんを子育てサロンでお預かりする想定で保護者にお仕事時間を確保していただければと考えています。
4	事務室	・事務室は建物中心に位置し、全体が見渡せる場にある方がよいのでは。こども課の職員には在中してほしい。	5-6、10-5を参照してください。
5	中間教室	・中間教室は余りにも奥まりすぎていて、社会（学校）との隔たりが強い様に思います。一步を踏み出す時の（カベ）が多すぎる気がします。（個別の入口 廊下 窓サンテラス側など）	中間教室を利用する児童生徒の特性に配慮した配置としています。
6	子育てサロン	<ul style="list-style-type: none"> ・受付 部屋全体が見渡せる位置にほしい。 ・午睡空間 利用者からはフラットとの要望があったようですが、今の状況では危険を感じています。可動式でも良いので、段または囲いの必要を感じます。 ・カウンター サロンの目的（親子で遊ぶ）からすると、子どもを遊ばせながらワーキングは矛盾すると思います。また、子どもの目線から外れる高さになり、頭をぶつける危険を感じます。 ・利用者用荷物置き 扉（鍵付き）または高いところなど、子どもの手の届かない所に欲しい。 ・水回り シャワー（庭の近く）洗濯機（必須）子供用便器2個 ・倉庫 文房具、予備の玩具（テーブルや午睡用品）壊れた玩具（大きな物）を一時的に保管など、子どもが入れない収納場所が必要。 ・片付け棚 ままごと等子どもとともに片付けを楽しめる棚。 	<ul style="list-style-type: none"> ・受付 5-6、10-5を参照してください。 ・午睡空間 27-1を参照してください。 ・カウンター 28-3を参照してください。 ・利用者用荷物置き 実施設計で検討いたします。 ・水回り シャワーでなく足洗い場を検討します。他は実施設計で検討いたします。 ・倉庫、片付け棚 5-7を参照してください。

No.	項目等	意見の概要	意見に対する村の考え方
7	その他	<p>利用者が、子どもを預けて説明や意見交換ができる。時間場所を設定してほしい。</p> <p>サロン及び、今後この施設にかかわるスタッフの意見交換を公の場でも設けてほしい。</p> <p>原っ子広場との関わりを明確にしてほしい。</p> <p>サロン あひるクラブ のびのび教室などの連携が必要に思われます。</p>	<p>利用者の皆さんからは、職員を通して常にご意見を伺っています。また、職員の意見についても同様です。職員間の齟齬があるようでしたら是正いたします。</p> <p>他課との調整については、課の代表でこれまでも検討しています。基本的には今後も同様です。</p> <p>原っ子広場については、7-4を参照してください。</p> <p>サロン あひるクラブ のびのび教室など運用面の検討となります。関係課で調整いたします。</p>
29	1 その他	<p>① 先日の住民説明会は、お知らせが急だったこともあり、住民の方の参加は数名でした。子育て世代は夜の参加は難しく、関係者がほとんどだったようで、説明会の意味があったのか疑問です。一番聞いてほしいのは、子育て世代や子どもたちの意見です。特に子育てサロンについては、場を設けて聞いてほしい。中間教室を含め、子ども達が使う居場所は子ども達にも話を聞くなど、何らかの形で建設に参加できるようにしてほしいです。また、実際に子育てサロンや中間教室などに携わっている方々の意見はしっかり聞いていただいているでしょうか。行政には施設を利用する人と運営する人の願いを束ねることをお願いします。施設を実際に使う人々の願いを聞かないで進めると失敗につながります。</p>	<p>子育てサロン利用者の皆様には住民説明会の資料をお渡しし、ご意見もいただいております。併せて何度か足を運び実際の運用に関する提案もいただきました。いずれも子育てサロン担当職員と連携して行っています。</p> <p>子どもたちの意見については学校を経由した方法で聴取するよう検討していきます。</p> <p>職員の意見については常に意見を頂ける状況としています。職員間の齟齬があるようでしたら是正いたします。他課との調整については、課の代表によりでこれまでも検討しています。基本的には今後も同様です。</p>
2	その他	<p>② 検討委員会の際も申し上げましたが、原村には各学校に教育目標はあっても、村としてどのような子に育ててほしいというビジョンがありません。本来そのビジョンの上に立って、子ども・子育て支援センターの建設があるべきだと思います。</p> <p>ここ数年で、社会や家庭の在り方は大きく変化しています。その中で、子ども、子育ての在り方も合わせて考え直す必要があると思います。でないと原村の子どもたちが時代に取り残されてしまう恐れがあります。この機会に、原村保育園、小学校、中学校一貫教育をうたっている原村の子ども・子育てについての原村ビジョンをつくっていただきたいです。</p>	<p>原村の子ども・子育てについてのビジョンは「原村子ども・子育て支援事業計画」及び「原村の教育」でお示ししています。</p>

No.	項目等	意見の概要	意見に対する村の考え方
3	その他	<p>③ 最近、子ども課ができたり、中間教室ができたり新しい取り組みが実現されているのはとてもうれしいことです。しかし、残念ながら原村に建設された村の施設と機能がどれもばらばらで使いにくい。将来を見越して住民が使いやすい、施設を建ててほしいです。例えば、そよかぜについては、とても便利な場所にありながら、なぜ2階建てにしなかったのか。保健センターには常に人が出入りしているのに、隣のそよかぜは人がいる気配があまりないのはなぜですか。とてももったいない気がします。</p> <p>子ども子育て支援センターの建設にあたっては、答申にもありましたが、既存の施設をフル活用するなどして、一つの施設に詰め込むのではなく、将来を見通して余裕をもたせた施設にしていきたいです。あの広さですべての機能を入れるのはきつい。平屋を2階建てにすることはできないのでしょうか。また、機能的な配置を再考することも視野に入れて考えていただきたい。予算が削られているならなおさらです。子ども・子育て支援センターの機能の場としては、学校も一つの選択肢となり得るのでは。</p>	<p>「そよかぜ」については、7-1を参照してください。 既存施設の活用については、3-3を参照してください。 2階建ての検討については、24-7を参照してください。</p>
4		<p>④ 今まで、原村では、縦ノ木荘の建設計画にしろ、景観計画の策定にしろ途中で頓挫したり、計画を大幅に変更したりすることになった残念な歴史があります。その結果、財政を余計に持ち出すことになるような事態は繰り返さないでほしいです。原因はどこにあるのか、きちんとした分析をお願いします。</p> <p>子ども・子育て支援センターが同じようになるのではないかと心配です。担当の設計事務所は子ども・子育て支援センター建設に関わった経験のある事務所ですか。原村には、専門的な知識や技能を持つ方々がたくさん住んでいます。役場の職員にはスペシャリストは少ないと思います。となれば、今求められている「行政と住民の協働」の形だと思います。</p>	<p>7-3を参照してください。</p>
5		<p>⑤ 子ども・子育て支援センター機能の一つに放課後子どもプランがあるとしますは、放課後の子どもの居場所づくりについては、学童は子ども課、原っ子広場は生涯学習課が担当しており、縦割りの弊害が出ています。子ども課ができた今、放課後子どもプランは一括して子ども課が担当すべきでは、小さなところからばらばらを解消してください。</p>	<p>学童クラブと原っ子広場の本来の目的とあり方について教育委員会内で再検討し、担当課の見直しも検討して、それぞれ目的に合った開設方法に改めていこうと考えています。</p>

No.	項目等	意見の概要	意見に対する村の考え方
6		⑥ ファミリーサポートセンターの機能は、現在社協のねこの手が担当しています。こちらも、子ども・子育て支援センターの中でどのように運営していくのかなど、社協との話し合いも必要ではないでしょうか。	子ども・子育て支援法で定めるファミリーサポート事業を運営できるようお子さんを預かる協力会員の養成・確保に努めたいと思います。
7		⑦ 中間教室については、まだまだその存在意義について住民の理解が進んでいないように思います。不登校の子ども達を学校に戻すための中間教室と考えている人が多い中、図面のように配置することを中間教室に通う子ども達は望んでいないようです。同学年の子ども達と顔を合わせることが無いよう、せめて2階であったらと。中間教室は単なる教室ではなく、小さな学校のようなものではないかと思っています。中間教室については、その在り方について専門家を交えて十分ご検討ください。	中間教室を利用する児童生徒のそれぞれ違う特性に配慮していくために、施設面での完全な対応を想定することは困難です。ソフト面で、施設内の他のスペースの利用や小中学校との連携をとりながら、可能な限り応えうるよう進めていく予定です。
8		⑧ 建物の外観についてはまだ決まっていないということですが、太陽光発電を設置し床暖房にすることや、太陽の光を存分に取り込んで明るく暖かい建物であってほしいです。今後、村民も参加あるいは傍聴できるような建設委員会のような場が設置されることを願っています。	外観については実施設計で検討いたします。
9		⑨ 原村には児童館がありません。放課後友達と遊ぶにも遠くて車で送ってもらわなければならない状況を見ると、学校の近くで遊ぶ場所が必要です。冬は外で遊ぶこともままなりません。特に、原山方面に移住してきた子ども達は大変です。村として若者の移住を促進するならどこかに児童館的機能も考えていただきたい。子ども・子育て支援センターに児童館的要素が入れられればよいのですが、何よりも原村の将来を担う子ども達がいきいきと暮らし、大人になって帰って来たくするような原村をみんなで創っていかれたらと思っています。	将来にわたって活力ある村づくりを進めていくためには子育てをしやすい環境を醸成し若い子育て世代の人口を増やすことが村にとって非常に重要な課題です。放課後に親の迎えを待つ子どもの居場所としては子育て支援センターの多目的室を利用させていただきたいと考えています。児童館のような放課後の遊び場としての機能も設けるにはそれ相応の面積が必要になると思われるため住民の皆さんの意見をお聞きし建設費用面も勘案しながら検討していきたいと思っています。
30	1 多目的室	<ul style="list-style-type: none"> ・ 諏訪の上諏訪駅前にある「すわっチャオ」や茅野のベルビアの中にある「チノチノ」など中高生が自由に活用できる場所をつくってほしい。 ・ これから高齢者が増えていく中で、高齢者も自由に子どもたちと遊べるしせつをつくってほしい。→シルバー人材センターといっしょにする。 	中高生専用ではありませんが、利用できます。現在も公民館については一般の方と同じように利用が可能です。シルバー人材センターについては24-1を参照してください。

No.	項目等	意見の概要	意見に対する村の考え方
2	その他	・ 2階をつくって、福祉センターでやっている、映画祭などを2階でやれば良いと思う。	子育て支援センターを2階建てにすることについては使い勝手と建設コスト面を勘案して検討しました。24-7を参照してください。 夏休み子ども映画会については会場を暗くするのにカーテンを閉めきることが必要なために暑さ対策としてエアコンがある福祉センターで行っていましたが、本年度中に中央公民館にもエアコンが整備されるため、来年度からは中央公民館で開催する予定です。
3	庭	・ 庭をもう少し広くしてほしい。 ・ 形が変なのでもう少し水路を移動するなどした方が良いとおもう。	用地購入等考えておりませんので、対応できません。
31	1 駐車場	・ 利用者が多い時に駐車場が11台分で足りるのか、若干気になります。	10-1を参照してください。
	2 多目的室	・ 多目的室があることで子供向けの催しが開催しやすくなり、参加しやすくなることを期待します。	開所しましたらいろんな企画を提案いただければ幸いです。
	3 中間教室	中間教室の玄関を設けてあることがとても良いと思いました。	中間教室を利用する児童生徒の特性に配慮した配置としています。

